

教科名	工業（土木）	科目名	情報技術基礎	
科目の目標	1. 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 2. 情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得する。 3. 情報及び情報手段を活用する能力と態度を身につける。			
履修学年	1年	学科・コース	土木	
単位数	2単位	授業形態	座学・実習	
教科書	7実教工業385情報技術基礎	副教材等	なし	
1 学習の目標	コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組み、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解し、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を習得する。			
2 学習内容と進め方	(1) 工業技術基礎の時間など他の教科学習にも関連して、コンピュータ教室の利用がスムーズに行えるための準備実習を取り入れます。 (2) コンピュータを用いた場合とそうでない場合とを体験的に比較することで、コンピュータの長所や短所についてより理解が深められるようにします。 (3) 情報の表し方と処理手順について自分で工夫して解決できるよう演習課題に取り組みます。			
3 学習の留意点	コンピュータを利用して、人間の五感である視覚、聴覚、臭覚、味覚、知覚に関連する情報の伝達媒体をデジタル的に処理する画像処理技術、映像処理技術、通信技術、これら各種の技術を習得できるようにする。			
4 評価の方法	『関心・意欲・態度』『思考・判断・表現』『技能』『知識・理解』などの評価の観点をもとに、定期考査の成績に、学習活動の取組状況、ノートや課題の提出状況などを加えて、総合的に判断する。 《定期テスト（中間・期末・学年末）・一斉テスト・小テスト・ノート・レポートなど》			
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4月	第1章 現代社会とコンピュータ	1 情報と生活 2 コンピュータの特徴 3 ハードウェアとソフトウェア 4 コンピュータの利用 5 コンピュータの基本構成 6 情報化社会の進展とモラル	【関】 コンピュータにおける情報の表現方法や処理の仕組みに関心を持ち、問題解決においてコンピュータを効果的に活用しようとするとともに、情報技術を社会の発展に役立てようとする。	学期末考査 この単元を自己評価してみよう A B C
6月	第2章 コンピュータの基本操作	1 基本的な操作 2 コンピュータの使用と健康	【思】 問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための方法を工夫したり、結果を踏まえて改善したりするとともに、情報技術が社会に及ぼす影響を考える。	
8月	第3章 ソフトウェア	1 ソフトウェアの基礎 2 プログラム作成に必要なソフトウェア 3 アプリケーションソフトウェア	【技】 問題解決においてコンピュータを効果的に活用するために必要な技能を身に付けて問題解決を行うとともに情報通信ネットワークなどを活用して情報技術が社会に及ぼす影響を調べる。	中間考査 この単元を自己評価してみよう A B C
8月	第4章 BASIC によるプログラミング（基礎）	1 プログラム言語 2 プログラムの作り方 3 簡単なプログラム 4 四則計算のプログラム 5 文字データの取り扱い 6 データの読取り 7 分岐処理 8 繰り返し処理	【知】 コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組みを理解し、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を身に付けるとともに、情報技術が社会に及ぼす影響を理解している。	
10月	第5章 BASIC によるプログラミング（応用）	1 サブルーチン 2 配列処理		学期末考査 この単元を自己評価してみよう A B C
12月				

1月	第7章ハードウェア	1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作 4 周辺装置		ワープロ検定 3級受験
2月	第10章情報の管理	1 プログラムおよびデータの 保全と保守 2 コンピュータシステムの安全保 護 3 情報の保全と安全		学年末考査 この単元を 自己評価してみよう A B C
3月				

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。